

「みち」パンフレットを作成しました

～ 弾丸道路開通 50 周年記念 「みち」 弾丸道路で考えること～

道路部 維持管理研究室



A4 版 20 ページ

維持管理研究室では北海道土木技術会舗装研究委員会と共同で、国道 36 号弾丸道路の開通 50 周年を記念し、道路の役割や道路建設の歴史を知り、考えるためのパンフレット、「みち」弾丸道路で考えること、を作成しました。

国道 36 号札幌・千歳間は昭和 27 年 10 月に着工し、延長 34.5km もの区間を僅か 1 年余りで完成するという驚異的なスピード工事が由来となり、通称「弾丸道路」と呼ばれました。この工事では優れた技術者集団の熱意といくつもの先進的な道路建設技術が投入され、近代的道路建設の先駆けとなりました。

このパンフレットは小学生から一般までを対象とし、「みち」の役割、昔の「みち」づくり、国道 36 号線のおいたち、未来の「みち」等のトピックを豊富なイラストや写真、最新のデータを使ってわかりやすく解説しています。

札幌市他の小学校 43 校に副教材として配布したほか、各種イベント時に配布する予定です。



目次のページ



内容の一例

若干残部がありますのでご希望の方にお分けします。返信用封筒を同封の上、〒062-8602 札幌市豊平区平岸 1 条 3 丁目北海道開発土木研究所維持管理研究室までご連絡ください。